

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 無期限 (2015年2月10日設定) (年2回決算型) 無期限 (2015年4月10日設定)	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

第101期(決算日2023年8月10日) 第104期(決算日2023年11月10日)
第102期(決算日2023年9月11日) 第105期(決算日2023年12月11日)
第103期(決算日2023年10月10日) 第106期(決算日2024年1月10日)

(年2回決算型)

第18期 (決算日2024年1月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
	円		円		%	%	百万円
77期(2021年8月10日)	8,252		45		0.0	90.3	30,613
78期(2021年9月10日)	8,345		45		1.7	88.7	30,511
79期(2021年10月11日)	8,320		45		0.2	91.7	30,014
80期(2021年11月10日)	8,444		45		2.0	91.6	29,880
81期(2021年12月10日)	8,312		45		△1.0	87.6	28,776
82期(2022年1月11日)	8,531		45		3.2	88.6	29,161
83期(2022年2月10日)	8,400		45		△1.0	87.7	28,421
84期(2022年3月10日)	8,237		45		△1.4	88.3	27,615
85期(2022年4月11日)	8,817		45		7.6	91.4	29,033
86期(2022年5月10日)	8,858		45		1.0	89.2	28,745
87期(2022年6月10日)	9,070		45		2.9	90.8	29,331
88期(2022年7月11日)	9,047		45		0.2	90.4	29,213
89期(2022年8月10日)	8,948		45		△0.6	88.9	28,880
90期(2022年9月12日)	9,470		45		6.3	88.7	30,673
91期(2022年10月11日)	9,292		45		△1.4	86.6	30,048
92期(2022年11月10日)	9,446		45		2.1	90.8	30,640
93期(2022年12月12日)	8,745		45		△6.9	90.3	28,104
94期(2023年1月10日)	8,420		45		△3.2	92.1	27,190
95期(2023年2月10日)	8,394		45		0.2	90.7	27,492
96期(2023年3月10日)	8,662		45		3.7	90.8	28,717
97期(2023年4月10日)	8,503		45		△1.3	91.8	28,537
98期(2023年5月10日)	8,668		45		2.5	89.9	29,476
99期(2023年6月12日)	8,870		45		2.8	90.0	30,845
100期(2023年7月10日)	9,039		45		2.4	90.3	32,693
101期(2023年8月10日)	9,080		45		1.0	92.1	34,262
102期(2023年9月11日)	9,221		45		2.0	91.9	36,088
103期(2023年10月10日)	9,282		45		1.1	92.7	37,635
104期(2023年11月10日)	9,427		45		2.0	91.7	39,834
105期(2023年12月11日)	9,014		45		△3.9	93.5	39,447
106期(2024年1月10日)	9,016		45		0.5	92.2	39,765

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○当作成期中の基準価額等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
			騰 落	率	
第101期	(期 首) 2023年 7月10日	円 9,039		% —	% 90.3
	7月末	8,971		△0.8	92.3
	(期 末) 2023年 8月10日	9,125		1.0	92.1
第102期	(期 首) 2023年 8月10日	9,080		—	92.1
	8月末	9,255		1.9	92.5
	(期 末) 2023年 9月11日	9,266		2.0	91.9
第103期	(期 首) 2023年 9月11日	9,221		—	91.9
	9月末	9,382		1.7	88.7
	(期 末) 2023年10月10日	9,327		1.1	92.7
第104期	(期 首) 2023年10月10日	9,282		—	92.7
	10月末	9,348		0.7	93.2
	(期 末) 2023年11月10日	9,472		2.0	91.7
第105期	(期 首) 2023年11月10日	9,427		—	91.7
	11月末	9,200		△2.4	93.0
	(期 末) 2023年12月11日	9,059		△3.9	93.5
第106期	(期 首) 2023年12月11日	9,014		—	93.5
	12月末	8,897		△1.3	92.3
	(期 末) 2024年 1月10日	9,061		0.5	92.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
14期(2022年1月11日)	12,568		0		6.2	88.8	9,823
15期(2022年7月11日)	13,752		0		9.4	90.5	9,824
16期(2023年1月10日)	13,179		0	△	4.2	92.3	9,155
17期(2023年7月10日)	14,600		0		10.8	90.4	11,774
18期(2024年1月10日)	14,996		0		2.7	92.3	15,055

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2023年7月10日	円		%		%
		14,600	—		90.4
7月末		14,489	△0.8		92.3
8月末		15,022	2.9		92.6
9月末		15,304	4.8		88.9
10月末		15,322	4.9		93.6
11月末		15,151	3.8		93.5
12月末		14,722	0.8		92.9
(期 末) 2024年1月10日		14,996	2.7		92.3

(注) 騰落率は期首比です。

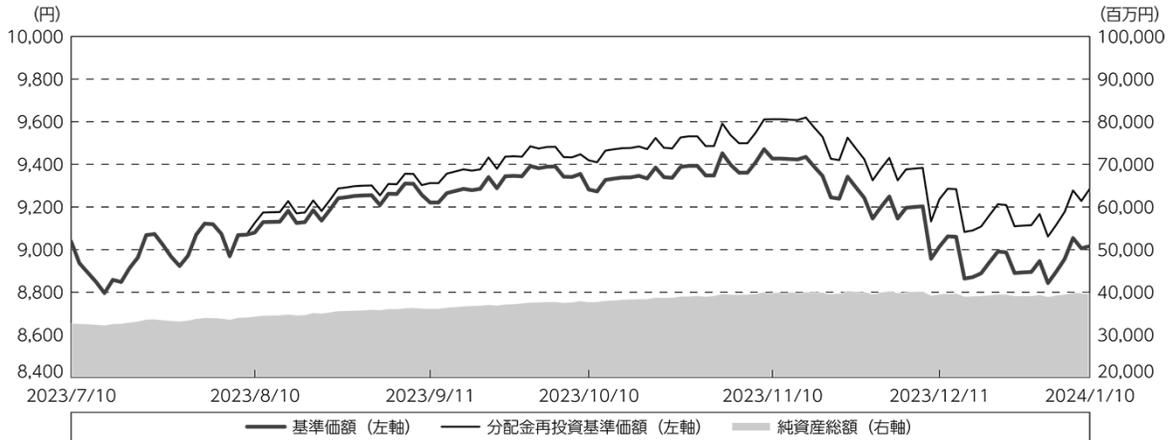
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(毎月決算型)

○運用経過

(2023年7月11日～2024年1月10日)

基準価額等の推移について



第101期首：9,039円

第106期末：9,016円 (既払分配金(税込み)：270円)

騰落率：2.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

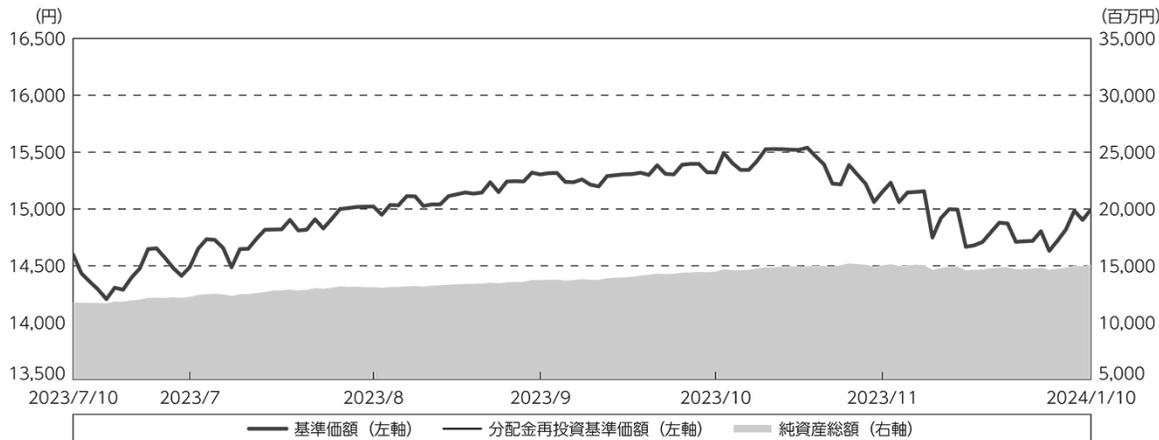
- ・債券のクーポン収入(利金)。

(年2回決算型)

○運用経過

(2023年7月11日～2024年1月10日)

基準価額等の推移について



期首：14,600円

期末：14,996円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 2.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・債券のクーポン収入(利金)。

(毎月決算型／年2回決算型)

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りはほぼ横ばいとなりました。

当(作成)期初から2023年10月にかけて、米連邦準備制度理事会(FRB)が追加利上げを示唆したことなどから、米国債金利が上昇し、インドでは、野菜価格の高騰によりインフレが加速したことも要因となり、インド国債の利回りは上昇しました。10月下旬以降は、FRBがハト派的な姿勢を見せたことで米国債金利が低下に転じ、インド国債の利回りも低下しました。インド準備銀行(RBI、中央銀行)は当期間中は政策金利を据え置きました。社債の対国債スプレッドは比較的横ばい圏で推移しました。

為替市場

インドルピーは、当(作成)期を通じて対米ドルでは下落しました。FRBによる利上げを背景に米ドルは対主要通貨で上昇しました。ただし、原油価格が比較的安定していたことや、インド金融市場への資金流入、RBIによる為替介入などがインドルピーの支援材料となりました。一方、円安米ドル高が進行したことから、インドルピーは対円では上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当(作成)期は、金利上昇に備えるデュレーション戦略を継続し、短期債を購入しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型／年2回決算型)

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(毎月決算型)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2023年7月11日～ 2023年8月10日	2023年8月11日～ 2023年9月11日	2023年9月12日～ 2023年10月10日	2023年10月11日～ 2023年11月10日	2023年11月11日～ 2023年12月11日	2023年12月12日～ 2024年1月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	45 0.493%	45 0.486%	45 0.482%	45 0.475%	45 0.497%	45 0.497%
当期の収益	40	45	41	45	33	38
当期の収益以外	4	—	3	—	11	6
翌期繰越分配対象額	1,012	1,018	1,015	1,147	1,137	1,131

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(年2回決算型)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2023年7月11日～ 2024年1月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,898

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(毎月決算型／年2回決算型)

○今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

足元のインフレ状況や経済環境から、インド準備銀行(中央銀行、RBI)は当面政策金利を据え置くと思われます。債券市場においては、引き続きイールドカーブはフラット(長短金利差が縮小した状態)であると判断しており、短期債に投資妙味があると考えています。目先は社債のスプレッドが拡大する局面が続くと見込んでいるため、クレジット資産を追加購入する機会を伺っています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年7月11日～2024年1月10日)

項 目	第101期～第106期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(38)	(0.415)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.415)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.003)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	80	0.872	
作成期間の平均基準価額は、9,175円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

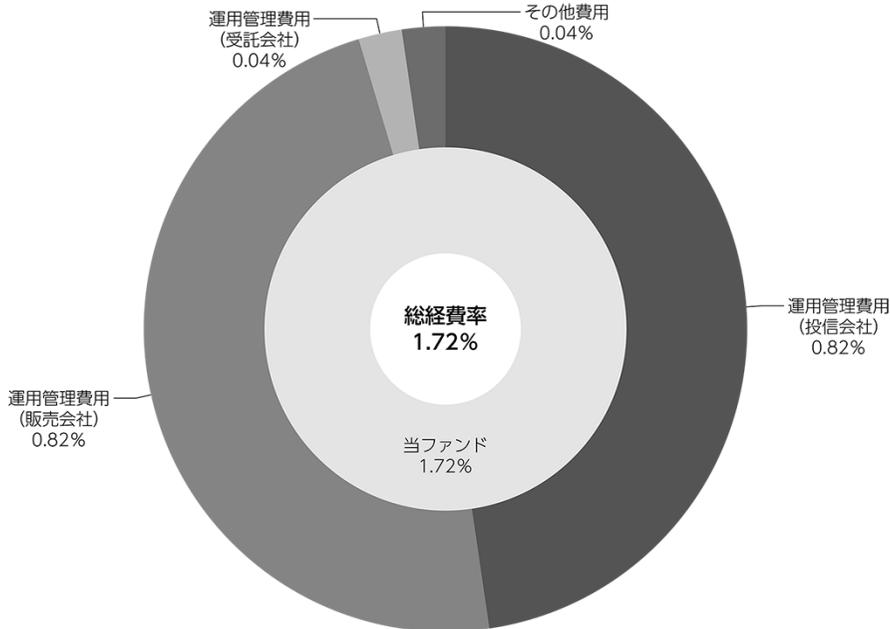
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(毎月決算型)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○売買及び取引の状況

(2023年7月11日～2024年1月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第101期～第106期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 3,960,081	千円 7,001,191	千口 600,356	千円 1,059,971

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月11日～2024年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月10日現在)

親投資信託残高

銘柄	第100期末	第106期末	
	口数	口数	評価額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 19,259,214	千口 22,618,940	千円 40,019,690

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2024年1月10日現在の受益権総口数は、31,195,193千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月10日現在)

項目	第106期末	
	評価額	比率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 40,019,690	% 99.9
コール・ローン等、その他	29,359	0.1
投資信託財産総額	40,049,049	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(53,264,410千円)の投資信託財産総額(55,207,501千円)に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=144.69円、1インドルピー=1.75円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2023年8月10日現在	2023年9月11日現在	2023年10月10日現在	2023年11月10日現在	2023年12月11日現在	2024年1月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	34,564,689,430	36,355,936,909	37,908,390,426	40,154,917,034	39,753,094,188	40,049,049,324
コール・ローン等	84,634,557	39,089,234	40,175,006	74,307,316	50,624,825	14,923,426
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(開辦)	34,480,054,873	36,316,847,675	37,868,215,420	40,080,609,718	39,702,469,363	40,019,690,612
未収入金	—	—	—	—	—	14,435,286
(B) 負債	302,161,726	267,844,150	273,047,629	320,903,828	305,749,344	283,576,960
未払収益分配金	169,797,723	176,122,214	182,460,125	190,141,879	196,928,073	198,476,446
未払解約金	84,634,557	39,089,234	40,174,784	74,306,751	50,624,825	29,358,712
未払信託報酬	47,537,065	52,242,114	49,841,838	55,692,062	57,241,806	54,600,251
未払利息	243	114	—	217	148	44
その他未払費用	192,138	390,474	570,882	762,919	954,492	1,141,507
(C) 純資産総額(A－B)	34,262,527,704	36,088,092,759	37,635,342,797	39,834,013,206	39,447,344,844	39,765,472,364
元本	37,732,827,354	39,138,269,930	40,546,694,593	42,253,750,956	43,761,794,008	44,105,876,936
次期繰越損益金	△ 3,470,299,650	△ 3,050,177,171	△ 2,911,351,796	△ 2,419,737,750	△ 4,314,449,164	△ 4,340,404,572
(D) 受益権総口数	37,732,827,354口	39,138,269,930口	40,546,694,593口	42,253,750,956口	43,761,794,008口	44,105,876,936口
1口当たり基準価額(C/D)	9,080円	9,221円	9,282円	9,427円	9,014円	9,016円

(注) 元本の状況

当ファンドの第101期首元本額は36,168,932,960円、第101～106期中追加設定元本額は10,121,607,329円、第101～106期中一部解約元本額は2,184,663,353円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第101期0.9080円、第102期0.9221円、第103期0.9282円、第104期0.9427円、第105期0.9014円、第106期0.9016円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○損益の状況

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2023年7月11日～ 2023年8月10日	2023年8月11日～ 2023年9月11日	2023年9月12日～ 2023年10月10日	2023年10月11日～ 2023年11月10日	2023年11月11日～ 2023年12月11日	2023年12月12日～ 2024年1月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 4,645	△ 5,811	△ 4,749	△ 5,606	△ 5,210	△ 4,736
支払利息	△ 4,645	△ 5,811	△ 4,749	△ 5,606	△ 5,210	△ 4,736
(B) 有価証券売買損益	383,898,134	756,917,652	463,464,920	844,033,680	△1,530,217,310	264,281,715
売買益	384,977,334	762,267,677	466,975,645	847,172,419	4,567,438	273,318,296
売買損	△ 1,079,200	△ 5,350,025	△ 3,510,725	△ 3,138,739	△1,534,784,748	△ 9,036,581
(C) 信託報酬等	△ 47,729,203	△ 52,440,450	△ 50,022,246	△ 55,884,321	△ 57,433,944	△ 54,787,266
(D) 当期損益金(A+B+C)	376,164,286	704,471,391	413,437,925	788,143,753	△1,587,656,464	209,489,713
(E) 前期繰越損益金	434,294,525	635,300,835	1,154,573,032	1,374,046,953	1,958,827,525	173,597,826
(F) 追加信託差損益金	△4,110,960,738	△4,213,827,183	△4,296,902,628	△4,391,786,577	△4,488,692,152	△4,525,015,665
(配当等相当額)	(2,359,592,760)	(2,520,779,548)	(2,681,844,807)	(2,872,391,926)	(3,065,853,457)	(3,130,357,028)
(売買損益相当額)	(△6,470,553,498)	(△6,734,606,731)	(△6,978,747,435)	(△7,264,178,503)	(△7,554,545,609)	(△7,655,372,693)
(G) 計(D+E+F)	△3,300,501,927	△2,874,054,957	△2,728,891,671	△2,229,595,871	△4,117,521,091	△4,141,928,126
(H) 収益分配金	△ 169,797,723	△ 176,122,214	△ 182,460,125	△ 190,141,879	△ 196,928,073	△ 198,476,446
次期繰越損益金(G+H)	△3,470,299,650	△3,050,177,171	△2,911,351,796	△2,419,737,750	△4,314,449,164	△4,340,404,572
追加信託差損益金	△4,110,960,738	△4,213,827,183	△4,296,902,628	△4,391,786,577	△4,488,692,152	△4,525,015,665
(配当等相当額)	(2,364,477,833)	(2,526,132,776)	(2,686,258,804)	(2,878,655,101)	(3,070,711,735)	(3,132,596,273)
(売買損益相当額)	(△6,475,438,571)	(△6,739,959,959)	(△6,983,161,432)	(△7,270,441,678)	(△7,559,403,887)	(△7,657,611,938)
分配準備積立金	1,456,467,395	1,458,216,150	1,431,075,632	1,972,048,827	1,907,150,840	1,857,089,969
繰越損益金	△ 815,806,307	△ 294,566,138	△ 45,524,800	-	△1,732,907,852	△1,672,478,876

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

第101期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(154,012,113円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,364,477,833円)および分配準備積立金(1,472,253,005円)より分配対象収益は3,990,742,951円(10,000口当たり1,057円)であり、うち169,797,723円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第102期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(191,052,480円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,526,132,776円)および分配準備積立金(1,443,285,884円)より分配対象収益は4,160,471,140円(10,000口当たり1,063円)であり、うち176,122,214円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第103期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(166,883,683円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,686,258,804円)および分配準備積立金(1,446,652,074円)より分配対象収益は4,299,794,561円(10,000口当たり1,060円)であり、うち182,460,125円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第104期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(202,192,351円)、費用控除後の有価証券売買等損益(540,832,791円)、信託約款に規定する収益調整金(2,878,655,101円)および分配準備積立金(1,419,165,564円)より分配対象収益は5,040,845,807円(10,000口当たり1,192円)であり、うち190,141,879円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第105期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(145,251,388円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,070,711,735円)および分配準備積立金(1,958,827,525円)より分配対象収益は5,174,790,648円(10,000口当たり1,182円)であり、うち196,928,073円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第106期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(167,683,504円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,132,596,273円)および分配準備積立金(1,887,882,911円)より分配対象収益は5,188,162,688円(10,000口当たり1,176円)であり、うち198,476,446円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

(毎月決算型)

○分配金のお知らせ

	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
1万口当たり分配金(税込み)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

○お知らせ

2023年10月6日付でファンドへの投資機会を継続して提供することが受益者の皆様の利益に資すると判断し、信託期間を無期限に変更する約款変更を行いました。

また、同日付でデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○1万口当たりの費用明細

(2023年7月11日～2024年1月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 128	% 0.852	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(62)	(0.415)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(62)	(0.415)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.024	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.005)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(1)	(0.003)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	132	0.876	
期中の平均基準価額は、15,001円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

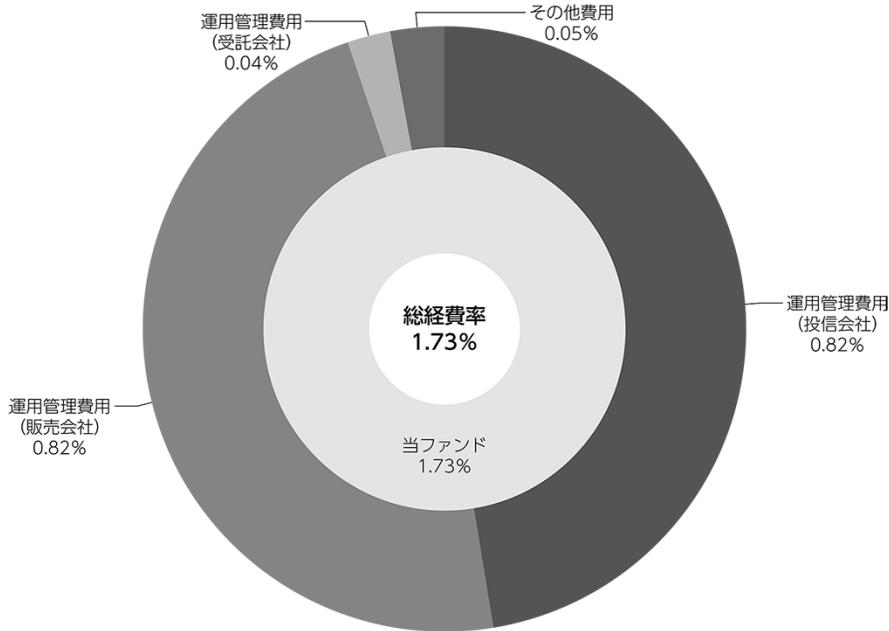
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(年2回決算型)

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○売買及び取引の状況

(2023年7月11日～2024年1月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	1,776,306	3,138,184	142,794	252,661

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月11日～2024年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	6,942,741	8,576,253	15,173,965

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2024年1月10日現在の受益権総口数は、31,195,193千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月10日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	15,173,965	99.9
コール・ローン等、その他	7,674	0.1
投資信託財産総額	15,181,639	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(53,264,410千円)の投資信託財産総額(55,207,501千円)に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=144.69円、1インドルピー=1.75円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,181,639,821
コール・ローン等	7,674,442
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(評価額)	15,173,965,379
(B) 負債	126,122,339
未払解約金	7,674,442
未払信託報酬	117,457,835
未払利息	23
その他未払費用	990,039
(C) 純資産総額(A－B)	15,055,517,482
元本	10,039,874,315
次期繰越損益金	5,015,643,167
(D) 受益権総口数	10,039,874,315口
1万口当たり基準価額(C／D)	14,996円

(注) 元本の状況

期首元本額	8,065,078,428円
期中追加設定元本額	2,505,391,312円
期中一部解約元本額	530,595,425円

(注) 1口当たり純資産額は1.4996円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2023年7月11日～2024年1月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 8,845
支払利息	△ 8,845
(B) 有価証券売買損益	408,070,898
売買益	432,941,109
売買損	△ 24,870,211
(C) 信託報酬等	△ 118,448,108
(D) 当期損益金(A+B+C)	289,613,945
(E) 前期繰越損益金	2,412,362,353
(F) 追加信託差損益金	2,313,666,869
(配当等相当額)	(3,171,160,657)
(売買損益相当額)	(△ 857,493,788)
(G) 計(D+E+F)	5,015,643,167
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	5,015,643,167
追加信託差損益金	2,313,666,869
(配当等相当額)	(3,182,797,456)
(売買損益相当額)	(△ 869,130,587)
分配準備積立金	2,739,488,839
繰越損益金	△ 37,512,541

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(327,126,486円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,182,797,456円)および分配準備積立金(2,412,362,353円)より分配対象収益は5,922,286,295円(10,000口当たり5,898円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(年2回決算型)

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

2023年10月6日付でファンドへの投資機会を継続して提供することが受益者の皆様の利益に資すると判断し、信託期間を無期限に変更する約款変更を行いました。

また、同日付でデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド 運用報告書

第9期（決算日：2024年1月10日）
（計算期間：2023年1月11日～2024年1月10日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第9期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
5期(2020年1月10日)	円	12,259	9.8	94.2%	75,199百万円
6期(2021年1月12日)		12,707	3.7	91.0	47,218
7期(2022年1月11日)		14,352	12.9	88.0	39,268
8期(2023年1月10日)		15,300	6.6	91.5	36,613
9期(2024年1月10日)		17,693	15.6	91.6	55,193

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落 率	率		
(期 首) 2023年1月10日	円	15,300	—	—	91.5%
1月末		15,326	0.2		88.5
2月末		15,853	3.6		90.3
3月末		15,774	3.1		88.4
4月末		16,020	4.7		91.4
5月末		16,611	8.6		89.0
6月末		17,424	13.9		85.3
7月末		16,969	10.9		92.2
8月末		17,617	15.1		92.4
9月末		17,971	17.5		88.6
10月末		18,018	17.8		93.1
11月末		17,842	16.6		93.0
12月末		17,363	13.5		92.2
(期 末) 2024年1月10日		17,693	15.6		91.6

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額の推移について



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・債券のクーポン収入 (利金)。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下 (価格は上昇) しました。

期初から2023年2月にかけて、インフレの高止まりやインド準備銀行 (RBI、中央銀行) の利上げなどを背景に、インド国債は短期ゾーンを中心に金利が上昇しました。しかし、3月に米国で銀行破綻が連続して発生し、景気後退懸念が強まると米連邦準備制度理事会 (FRB) の利上げ停止観測が高まったことで米国債金利が低下しました。これを受けてインド国債の利回りも連動して低下しました。6月以降はRBIが当面の引き締め環境の継続を示唆したことや、FRBが追加利上げを示唆したことなどから、米国債金利が上昇し、インドでは、野菜価格の高騰によりインフレが加速したことも要因となり、インド国債の利回りは上昇しました。10月下旬以降は、FRBがハト派的な姿勢を見せたことで米国債金利が低下に転じ、インド国債の利回りも低下しました。社債の対国債スプレッドは比較的横ばい圏で推移しました。

為替市場

インドルピーは、当期を通じて対米ドルでは下落しました。FRBによる利上げを背景に米ドルは対主要通貨で上昇しました。ただし、原油価格が比較的安定していたことでインドの貿易収支が改善したことや、インド金融市場への資金流入、RBIによる為替介入などがインドルピーの支援材料となりました。一方、円安米ドル高が進行したことから、インドルピーは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当期は、金利上昇に備えて変動利付債や短期債を購入し、デュレーションを短期化しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○今後の運用方針について

足元のインフレ状況や経済環境から、インド準備銀行（中央銀行、RBI）は当面政策金利を据え置くと思われます。債券市場においては、引き続きイーールドカーブはフラット（長短金利差が縮小した状態）であると判断しており、短期債に投資妙味があると考えています。目先は社債のスプレッドが拡大する局面が続くと見込んでいるため、クレジット資産を追加購入する機会を伺っています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月11日～2024年1月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.031	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.027)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 1 ）	(1)	(0.004)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	5	0.031	
期中の平均基準価額は、16,899円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月11日～2024年1月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	インド	国債証券	千インドルピー 6,503,589	千インドルピー 2,839,296 (19,000)
		特殊債券	4,666,467	2,291,486
		社債券（投資法人債券を含む）	8,169,432	6,008,823
			(451,034)	(521,034)

(注) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月11日～2024年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インド	千インドルピー 28,801,000	千インドルピー 28,884,735	千円 50,548,286	% 91.6	% 3.0	% 37.0	% 27.0	% 27.7
合 計	28,801,000	28,884,735	50,548,286	91.6	3.0	37.0	27.0	27.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組入れなしです。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は25.2%です。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
インド	国債証券	7.18% INDIA GOVT BOND	7.18	2,750,000	2,747,959	4,808,929	2033/8/14
		7.26% INDIA GOVT BOND	7.26	250,000	250,473	438,329	2032/8/22
		7.26% INDIA GOVT BOND	7.26	2,000,000	2,009,400	3,516,450	2033/2/6
		7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	1,200,000	1,227,145	2,147,505	2033/6/17
		7.88% INDIA GOVT INDIA GOVERNMENT BOND	7.88	10,000	10,347	18,108	2030/3/19
		8.25	2,500,000	2,545,000	4,453,750	2033/9/22	
	特殊債券 (除く金融債)	5.23% NABARD	5.23	500,000	486,983	852,220	2025/1/31
		6.85% NABARD	6.85	250,000	240,640	421,121	2031/3/21
		7.25% NABARD	7.25	250,000	247,803	433,656	2025/8/1
		7.25% SMALL IND DEV BNK	7.25	500,000	495,557	867,226	2025/7/31
		7.4% NABARD	7.4	500,000	496,269	868,472	2026/1/30
		7.43% SMALL IND DEV BNK	7.43	750,000	743,325	1,300,819	2026/8/31
		7.44% SMALL IND DEV BNK	7.44	250,000	247,826	433,696	2026/9/4
		7.47% SMALL IND DEV BNK	7.47	250,000	248,488	434,854	2025/11/25
		7.5% NABARD	7.5	500,000	496,239	868,419	2026/8/31
		7.54% SMALL IND DEV BNK	7.54	250,000	248,832	435,456	2026/1/12
		7.55% SMALL IND DEV BNK	7.55	500,000	496,902	869,579	2026/9/22
		7.58% NABARD	7.58	650,000	646,368	1,131,144	2026/7/31
		7.59% SMALL IND DEV BNK	7.59	250,000	249,049	435,836	2026/2/10
		8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	496,143	868,251	2028/11/28
		8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	101,228	177,150	2025/3/13
	普通社債券 (含む投資法人債類)	6.09% POWER FINANCE CORP	6.09	250,000	240,226	420,396	2026/8/27
		6.43% HDFC BANK LTD	6.43	350,000	340,627	596,097	2025/9/29
		7.13% POWER FINANCE CORP	7.13	250,000	247,479	433,089	2025/8/8
		7.35% HDFC BANK LTD	7.35	350,000	347,294	607,765	2025/2/10
		7.37% POWER FINANCE CORP	7.37	250,000	247,761	433,582	2026/5/22
		7.4% HDFC BANK LTD	7.4	250,000	247,511	433,144	2025/6/2
		7.44% REC LTD	7.44	500,000	496,671	869,174	2026/4/30
		7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	248,261	434,457	2029/8/13
		7.6% REC LTD	7.6	250,000	249,246	436,180	2026/2/28
		7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	348,666	610,167	2026/8/14
		7.64% REC LTD	7.64	500,000	498,748	872,810	2026/6/30
		7.7% HDFC BANK LTD	7.7	750,000	744,378	1,302,661	2025/11/18
7.7201% LIC HOUSING FINA		7.7201	750,000	747,461	1,308,057	2026/2/12	
7.8% HDFC BANK LTD		7.8	500,000	497,669	870,921	2025/6/2	
7.8% HDFC BANK LTD		7.8	450,000	447,368	782,894	2033/5/3	
7.95% SIKKA PORTS & TERM		7.95	1,000,000	998,860	1,748,005	2026/10/28	
8.12% NHPC LTD		8.12	250,000	256,947	449,658	2029/3/22	
8.14% NUCLEAR POWER CORP		8.14	50,000	50,627	88,597	2026/3/25	
8.23% PUNJAB NATIONAL BK		8.23	75,000	75,094	131,414	2025/2/9	
8.27% RURAL ELECTRIFICAT		8.27	670,000	672,771	1,177,349	2025/2/6	
8.3% REC LIMITED	8.3	750,000	772,749	1,352,311	2029/3/23		
8.35% HDFC BANK LTD	8.35	250,000	251,368	439,895	2026/5/13		
8.37% NATL HIGHWAYS AUTH	8.37	100,000	102,844	179,977	2029/1/20		
8.52% LIC HOUSING FIN	8.52	100,000	100,602	176,054	2025/3/3		

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
インド	%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
普通社債券 (含む投資法人債)	8.6% BHARTI TELECOM LTD	8.6	1,000,000	998,965	1,748,189	2024/12/5
	8.6% BHARTI TELECOM LTD	8.6	500,000	498,176	871,809	2025/12/12
	8.6% MUTHOOT FINANCE LTD	8.6	950,000	948,103	1,659,181	2025/8/25
	8.95% BHARTI TELECOM LTD	8.95	250,000	249,390	436,433	2026/12/4
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	403,324	705,818	2024/8/6
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	18,144	31,753	2024/9/22
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	252,498	441,873	2024/9/4
	DME DEVELOPMENT LTD	10.06	150,000	159,355	278,872	2033/3/16
	DME DEVELOPMENT LTD	10.06	150,000	158,930	278,127	2034/3/16
	DME DEVELOPMENT LTD	10.06	150,000	159,589	279,281	2035/3/16
	DME DEVELOPMENT LTD	10.06	150,000	160,716	281,254	2036/3/17
	DME DEVELOPMENT LTD	10.06	150,000	160,375	280,657	2037/3/16
	ICICI HOME FINANCE	8.21	250,000	250,259	437,953	2024/9/27
	SUNDARAM HOME FINANCE	8.44	500,000	503,677	881,436	2024/9/27
合 計					50,548,286	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2024年1月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 50,548,286	% 91.6
コール・ローン等、その他	4,659,215	8.4
投資信託財産総額	55,207,501	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産 (53,264,410千円) の投資信託財産総額 (55,207,501千円) に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=144.69円、1インドルピー=1.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	55,207,501,902	
コール・ローン等	2,890,096,490	
公社債(評価額)	50,548,286,445	
未収利息	1,289,705,365	
前払金	13,498,524	
前払費用	465,915,078	
(B) 負債	14,475,173	
未払解約金	14,435,286	
未払利息	5,855	
その他未払費用	34,032	
(C) 純資産総額(A-B)	55,193,026,729	
元本	31,195,193,575	
次期繰越損益金	23,997,833,154	
(D) 受益権総口数	31,195,193,575口	
1万口当たり基準価額(C/D)	17,693円	

(注) 元本の状況

期首元本額	23,930,839,957円
期中追加設定元本額	8,996,460,074円
期中一部解約元本額	1,732,106,456円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	22,618,940,040円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	8,576,253,535円

(注) 1口当たり純資産額は1,7693円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2023年1月11日～2024年1月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	2,997,213,396	
受取利息	2,998,943,478	
支払利息	△ 1,730,082	
(B) 有価証券売買損益	3,008,501,447	
売買益	3,403,212,829	
売買損	△ 394,711,382	
(C) 保管費用等	△ 13,905,315	
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,991,809,528	
(E) 前期繰越損益金	12,682,279,626	
(F) 追加信託差損益金	6,466,466,521	
(G) 解約差損益金	△ 1,142,722,521	
(H) 計(D+E+F+G)	23,997,833,154	
次期繰越損益金(H)	23,997,833,154	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

2023年10月6日付でデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。